

境地区協議会



境地区の棚田



棚田に広がる紅そば



紅そばの花

境地区は農業用ため池と自然水に頼る中山間地域の棚田地帯であり、農業者の高齢化や減少に伴い保全活動の低下や耕作放棄地の増大などが危惧されていた。そのため、棚田を守ろうと、平成14年に、農業者や自治会、小・中学校PTA等で構成する「境地区協議会」を設立し、耕作放棄地を活用した^{あか}紅そばの栽培に取り組んでいる。

収穫されたそばは、棚田のそば屋「紅そば亭」で訪れた人々に提供されている。さらに、棚田のお米は学校給食に提供するなど、地産地消に取り組んでいる。



岡山県美咲町

〔保健休養、景観の保全〕

耕作放棄地の復旧・保全管理と併せ、景観に配慮して棚田が絵画に見えるように9haを団地化し「紅そば」「白そば」を作付けしている。そばの開花時期になると、観光客やカメラマンなど多くの人々が訪れている。

自治会、老人会、PTA等多様な主体が参加して農道や水路の補修、草刈り、水路の泥上げなど、保全活動を積極的に実施している。

〔伝統文化の継承〕

お田植え祭、虫追い祭、秋祭り（獅子舞、棒術）等の伝統行事を守り続けている。



紅そば亭



境神社の秋の大祭



草刈り



そばの間引き作業